

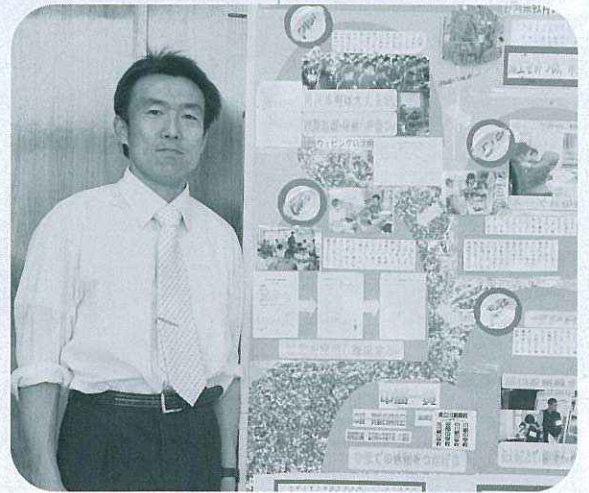
生徒の1年間の取り組みをポスターで表現

本川根中 山下教諭の研究作品が全国1位に輝きました

先ごろ、東京大学で開催された小中高「総合的な学習の時間」研究協議会（文部科学省主催）の中で行われたポスターセッション※で、本川根中学校の山下富士夫教諭が、県の代表校としてポスター作品を展示しました。（中学校の部）

山下さんのポスターは、生徒の1年間の調査・体験・表現活動を表したもので、生徒の写真や学習内容がバランス良く配置されています。また、背景には、大井川やSL、緑の山々などを配し、郷土色豊かな作品となっています。この色鮮やかな作品は、各都道府県の代表校の作品を抑え、参加者の投票により見事全国1位に選ばれました。

山下さん、おめでとうございます。



受賞した山下教諭と工夫されたポスター作品

※ポスターセッション：各都道府県の代表校がポスター作品を作成し、小学校・中学校の部に分かれて行った「作品展示会」のこと。

東京都の中学生が川根茶をまなぶ

筑波大附属中学生が修学旅行で川根本町を訪れました

5月9日、東京都筑波大附属中学の3年生が、修学旅行の1コースとして川根本町を訪問しました。

生徒は5人ずつのグループに分かれて、町内の農家を訪問し、茶摘み体験や製茶の工程を見学するなど、熱心に学びました。

茶農家を訪問した生徒たちは、真剣な表情で説明に聞き入り「ペットボトルの茶と茶葉で入れたお茶の味が違うのが気になっていた。手間をかけたお茶は、味が全然違うことが分かった」などの感想が聞かれました。

東京に帰ってからも茶葉で入れたお茶を飲みたいと話していた筑波大附属中の生徒たちは、10日、次の目的地へと向かっていきました。



相藤令治さん（元藤川）の説明を熱心に聞く生徒たち

ちゃっきり娘養成講座 今年もスタート

都市部の女性が1年間かけて川根本町の魅力を体験

4月28日～29日にかけて、ちゃっきり娘養成講座の開講式及び第1回の活動が行われました。（会場：地名農林業センターほか）

開講式に集まった「ちゃっきり娘」さんたちは、県内各地から集まった17人の女性です。

開講式では、澤本副町長が「1年間ここの自然を満喫して楽しんでください」とあいさつし、また援農隊（町内から集まった有志のみなさん）からも歓迎の言葉が贈られました。

第1回の活動である「農作業体験」では、春まき野菜のミニトマトやスイカなどの苗植え、2日目には茶摘み体験を行いました。参加者たちは、青空の下で心地よい汗を流しながら、和気あいあいと農作業を満喫しました。



どの参加者も農作業体験で良い汗を流しました

本川根B & G海洋センターから 小笠原体験クルーズに本川根小の望月祐季奈さんが参加

参加者のみなさんと
右から2番目が望月さん



B & G財団が主催する小笠原体験クルーズは、ホエールウォッチングや、カヌー・シュノーケリングなどのマリンスポーツ体験、自然体験活動などの活動を通じて「人と海の関わり」や、集団生活を通じて仲間を助け合う心、他人の個性を尊重する心を育む体験活動です。

今年3月に行われた体験クルーズには本川根小学校4年の望月祐季奈さんが参加し、様々な活動を経験しました。

望月さんの感想文をご紹介します。

小笠原体験クルーズの思い出

本川根小学校4年 望月祐季奈

私は、小笠原の体験クルーズに参加して、いろいろな経験をしてきました。その中で一番印象に残ったのがホエールウォッチングの思い出でした。

私は、今までクジラを見たことがなく、体長が何メートルもある生き物がどんなものかとても気になっていたのですが、ホエールウォッチングの日が楽しみでワクワクしていました。

ホエールウォッチングに出発する前に、小笠原まで乗ってきていた大きな船から別の小型船に乗りかえ、クジラがよくいるという所へと行くことになりました。クジラを探している間に、ガイドの人がクジラのことを詳しく教えてくれました。私は、早くクジラを近くで見たくてウズウズしながら「クジラを近くで見たいな、目の前で見られるかな」と思っている、ガイドの人から「クジラは、100メートルくらい離れた場所から見ないとダメなんだよ」と言われてしまい「すぐ近くでは見られないんだ」と、ちょっと残念に思いました。

お話を聞きながらしばらくするとクジラを一頭見つけたと言うことで船が止ま

りました。

どうやら子クジラが深く潜ったお母さんクジラたちを待っているようで、小さくて深く潜ることができない子クジラは寂しそうに何回も潮吹きをしていました。

それから5分くらいして、お母さんクジラが上ってくると、子クジラは、とてもうれしそうにお母さんクジラの所へ近づいてきました。

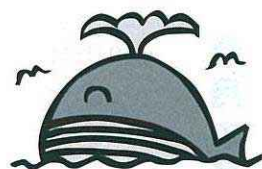
私は「この広い海の中で、一人でお留守番をしているあの子は強いなあ」と思いました。

このクジラたちが元気に大きくなって、たくさんの子どもを生んで、クジラが絶滅しないで欲しいと思いました。

そのためには、クジラたちの住む海を汚さないように、ゴミや石けんなど、色々なことに注意して、川や海を大切にしないといけないなと思いました。

私は、この体験クルーズで今まで知らなかった色々なことを知ることができました。

なので、来年も参加してもっともったもった色々なことを知りたいと思いました。



スローガン

「水道が うるおす日々の 健やかさ」

～水を大切に使いましょう～

本庁建設課管理係 電話 (56) 2227

総合支所住民課衛生係 電話 (58) 7070

水道週間

6月1日金～6月7日木